

最上川上流水防災意識社会再構築ビジョンの取組 H29.3版

■戦後最大規模「羽越水害」から50年を契機としたパネル展の実施

～洪水に対する防災意識、逃げる意識の向上～

- ・JR山形駅を皮切りに関係20市町をリレー方式で8月末まで巡回するパネル展をスタート
- ・50年前当時の写真や映像などを展示
- ・住民自身による自発的な避難行動の重要性を考えるキッカケになることを期待

巡回パネル展オープニングセレモニー

■日時 3月4日(土) 11:00～11:30

■場所 JR山形駅自由通路

■出席者 ・羽越水害50年実行委員会
(関係20市町、山形県、山形气象台、国交省)
山形市立大郷小学校
・報道機関8社

■内容 ・主催者挨拶[東北地整水災害予報センター長]
・20市町代表挨拶[山形市長]
・河川環境防災に係る活動紹介[大郷小学校]
・テープカット

□パネル構成(全30枚)

- ・羽越水害を振り返る
- ・羽越水害を契機とした河川整備
- ・河川整備だけでは防げない
- ・リスクを知って身を守る

□市民の声

- ・当時の事が蘇る。今一度備えなければならない。(60代)
- ・山形市内のゲリラ豪雨映像に驚いた。水の怖さを忘れてはいけない。(40代)
- ・災害の激しさがわかる。水害から身を守る方法を家族と話したい。(10代)



オープニングセレモニー開催状況



テープカットの状況



パネル閲覧状況